

〔資 料〕

昭和 40 年代の生活世界 (その 3)

—新聞記事にみるアパート団地・ニュータウン・郊外住宅—

西 脇 和 彦

Lifestyle in the Showa Era 40s: Apartment Developments,
New Towns, and Residential Suburbs as Reported in Newspapers

Kazuhiko Nishiwaki

1 はじめに

「近代化」が実質的に庶民レベルの生活に浸透した高度成長期（昭和 31 年から同 48 年）における国民生活のメルクマールとして、アパート団地・ニュータウン・郊外住宅に着目し、そこに暮らす一般大衆の姿を当時の新聞記事から引用することにより追体験している。その理由は、「近代化」がもたらした国民生活の先駆的、象徴的な姿が反映されていることによる。本稿では前稿（同タイトル・その 1、その 2）までに続いて、高度成長期のほぼ後半に相当する昭和 41 年から同 48 年までの『讀賣新聞』（東京版）の記事を扱うが、前稿（『毎日新聞』、『朝日新聞』）までに見られた数々の特性、たとえば、ドーナツ化、スプロール化、ベッドタウン、中産階級、新しい意識の誕生…をここでも見いだすことができるであろうか（今後『日本経済新聞』を検証する予定）。昭和 40 年代になると団地力の拡大・深化から、利便性の追求のみならず、問題点や矛盾点も見いだすことが多くなる。筆者はこのような視点から有意味的と考えられる記事（部分）を引用したが、そのなかでも、現代生活にも直結する部分をイタリック表記とした。

またこれまで同様に、団地計画ないしは行政上のマクロ的な見地よりも、団地生活それ自体やその生活様式など、メゾ的、ミクロ的な視点を優先して引用したが、記事分量の少ないものは省略した。その引用については、〈シリーズ名〉〔大・中〕見出し〔掲載年月日、年号は昭和〕小見出し、本文にまとめた（なお引用記事の表記は当時のままとしたが、漢数字表記の一部はアラビア数字に改めた）。

2 『毎日新聞』の記事から（前稿、その 1）

3 『朝日新聞』の記事から（前稿、その 2）

4 『讀賣新聞』の記事から（その 3）

〈すまい 宮内康〉〔公団住宅に予備室を〕（41. 4. 15）

たとえば、一むねごとに何室かの「予備室」をそなえ、それを中学生や高校生など、どうしても独立した勉強部屋を必要とする子を持つ家庭に、一定の期間提供することにする。（中略）こんな小さな生活の一定部分での共同化、部屋を交代で使うということは可能なはずだ（建築学）。

〈すまい 宮内康〉〔子供の成長と高層アパート〕 (41. 5. 20)

幼児の遊びということを考えてみると、地上の遊び場と高空の住まいが非常に離れていることは決定的な問題となる。(中略) この問題の解決には、いくつかの方法が考えられるが、そのひとつとして住まいと地上の遊び場の間に、つまり建て物の中に、幼児のための遊び場を設けることがあげられよう。

住居とエレベーターホールと、狭くて暗い廊下…たったこれだけで構成される高層アパートは住まいとしてはやはり失格であろう (建築学)。

〈保健の衣食住 水野肇〉〔亭主へのシワ寄せ 郊外に家を建てるということ〕 (41. 6. 5)

郊外に家を建てるというのは、主人の通勤距離や時間がふえるということである。(中略) 世の中が複雑化するほど、健康と環境の関係は密接になる。(中略) すべてのシワ寄せが亭主の通勤に行くのは考えものであろう (医事評論家)。

〈保健の衣食住 水野肇〉〔本末転倒の生活 2DK にベッド三つ…〕 (41. 6. 26)

2DK の団地に親子三人がベッドを一つずつ入れたために、すべての生活は四畳半一間で行なわねばならず、家具のあいたところへ人間が割り込んで生活しているといったケースも多い。これらはまさに“尾がイヌを振る生活”である (医事評論家)。

〈団地の 10 年① 藤永保〉〔新しい階層を生み出す〕 (41. 8. 15 夕刊)

ダンチがめだちはじめたのは、理想のコミュニティー造りをめざして、都心からほぼ 30 キロ圏内に、大規模団地が続々と生みだされた 33 年ごろからであったろう。緑に包まれた明るく近代的な郊外住宅地、火事にも盗難にも心配のない中層コンクリート造り、さらには、カギ 1 つでわずらわしい近隣からのがれ、マイプライベートを満喫できる場所、幼児期の団地には、文字どおり、バラ色の夢がいっぱいだった。

そこに住むのは、高い学歴をもち、大企業に奉職して中堅幹部へのエスカレーターにのりこみ、近代的な小家族を何より大切に願う人々であった。(中略) ダンチのイメージが、しぜんに、ダンチ族と呼ばれる一定の階層を抽出するはたらきを果たしたのだ。

この幼児期の団地は、山林、原野など、それまでの住宅非適地を大規模に開発して、突然、顔をあらわすという特性をもっている。フロンティアさながらの混乱がおさまると、いつか、周辺地域も住宅地と化していた。団地は、バラ色の夢を運ぶ都市化の先兵だったのである (東京女子大助教授・心理学)。

〈団地の 10 年② 藤永保〉〔対立する 2 集団 プライバシー派と社交派と〕 (41. 8. 22 夕刊)

団地族の特徴の 1 つは、近所づきあいが必要最小限にとどめられる点だ。

団地族は“近代主義者”だから、向こう三軒両隣感覚を好まない。カギ 1 つで隣と没交渉になれる、そこがよいと考える。こういうタイプを、プライバシー型と名づけよう。

もう 1 つ、団地では移転が早い。全国平均で年間移動率は約 10%、10 年で居住者は一変する勘定だ。団地族とは、地域に根づかぬ人々である (東京女子大助教授・心理学)。

〔団地の“アブストラクト”〕 (41. 8. 22 夕刊)

モルタルのヒビがつくる芸術？

公団住宅の外壁の厚さは大体 12 センチ。内部のコンクリートが約 10 センチで、そのうえにモルタルを 2 センチぐらいの厚さで塗ってある。もともと水でこねたものをかわかすのだからヒビははいりやすい。

〈団地の10年③ 藤永保〉〔小学校と商店街で交流〕（41.8.29 夕刊）

団地には、教育ママが多い。

団地の子どもは、ある意味では幸福、ある意味では不幸である。父親は温厚なホワイトカラーで子ども好きだ。日曜をつぶして、相手をするのをいとわない。権威をもって臨むより友だちとして接したほうがよいと信じ、そのとおりに実行する。児童遊園地が象徴するように団地の文化は子ども中心なのだ。

しかし、子どもに望む理想をたずねると、まっさきにあがるのは「経済的安定」という小市民的目標である。（中略）年はいかぬうちからの誤った教育過剰は、団地っ子のもつ不幸な反面であろう（東京女子大助教授・心理学）。

〔団地に住んで 市原悦子〕（41.8.29 夕刊）

満足すべき“自由” 子供がいれば手狭ですが…

私は3年前から、この赤羽台団地に住んでいます。部屋数は6畳2間と4畳に台所。

職業柄、家事に時間をさかれるのが一番つらいのです。その点一軒家と違ってカギ1つで外出でき、大変手間がはぶけます（俳優座）。

〈ホームドクター 笹本浩〉〔団地夫人と健康〕（41.10.13）

不調に気づいても診察うけぬ人が多い

この対策としては、団地内にもっと医療設備を拡充することですが、検診車がさらにひんぱんに各所の団地へ出張することも、まだ当分の間意義があるようです（慶応大学医学部教授）。

〔団地の稲荷〕（41.11.7 夕刊）

東武伊勢崎線の松原団地駅。駅をおりると、すぐ西側に鉄筋4階建ての公団住宅が、ちょっと大げさにいうと果てしなく建ち並んでいます。

若さと新しさと塗りつぶされているような団地のなかで、小さいけれど風雨にたえてきた古びた社があるのは、アナクロニズム（時代錯誤）というよりは、なにかユーモラスな、ほほえましい対照を感じさせます（松原団地・中山良子）。

〔がちり“団地商法”15円牛乳 タマゴ〕（41.11.7 夕刊）

富士見台団地 共同購入、市価の半値（トリ肉）（牛乳）主婦に配達“内職収入も”

〔廃車都電の児童図書館〕（41.11.14 夕刊）

多摩平団地の名物（多摩平団地・一ノ瀬孝子）

〔登校前にしからないで… カギっ子に代わってお願い 井川清〕（41.11.14 夕刊）

団地の朝、共かせぎの家庭では、こどもたちがおごなりにされる。私の小学校で「落ち着いた学校生活をしよう」という生活指導目標で指導した時期があった。その結果、児童が落ち着かないのは、出勤前の父母に、感情的にどなられることに原因があることがわかった。こどもはオロオロした心を、そのまま学校に持ってきて、一日中落ち着かない不安定な状態を続ける（足立区立伊興小・教諭）。

〔わが団地は“主婦内閣” 国立団地自治会〕（41.11.14 夕刊）

22人の集団指導制 堅い結束 公団も「手ごわいです」

北多摩郡国立町の国立団地の場合は、自治会の役員はすべて女性、つまり主婦たちで構成され、会長、副会

長などの代表的役職制度をとっていない。しかも、役員も回りもちである。いわば、入居者の主婦全員が役員、いいかえると、ダンチぐるみ役員制をしいている。

〈まち〉[犯人は団地の余熱] (41. 11. 21 夕刊)

都心に通うサラリーマンの夫は、樹木が好きだが、過去4年間、秋口になると、せっかくたんせいした植え木を全部枯らしてしまった。ことしの夏、いろいろと考えた末、枯れる原因は、コンクリートの余熱のせいとわかった。日中、熱くなったコンクリートは大地とちがいに夜にはいってもなかなか冷えない(武蔵野市・沢田イト)。

[団地っ子教える喜び 心もからだもスクスク伸びよ 三浦勝也] (41. 11. 21 夕刊)

日本国中から集まった、サラリーマンの多い、若い活動的な親たちが、たくましい生活の歩みのなかで、お互いに認め合い、作用し合って、団地の生活が創造され、共通な基盤が生まれつつあるのかもしれない。

団地は生きている。育っている。団地のなやみや喜びやかなしみが、学校のなかにピンピンひびいてくる(日野第五小学校教諭)。

〈団地だより〉[保育所ができる!] (41. 11. 28 夕刊)

4年間の“波状陳情”で(東久留米団地・井沢啓子)

〈団地のママへ 先生通信〉[捨ててほしい“腰かけ意識” 白石定雄] (41. 11. 28 夕刊)

いまは団地に住んでいるが、やがて将来、生活に余裕ができたとき出ていく“腰かけ”の生活なら、地域と学校の結びつきはできない。団地こそ、第二の故郷であるという意識をもった家庭になってほしい。そこに教育が根をおろし、実を結ぶ。教師のささやかな願いであり、希望でもある(村山町立二中教頭)。

〈まち〉[団地流ママごと遊び] (41. 11. 28 夕刊)

ある公団住宅の中にある団地小学校でこどもたちがママごと遊びをしている。(中略)“お客さま”がきた。主婦気どりの女の子が団地特有の“のぞき穴”をあけるかっこうをしながら「あら、いけません」。これを見ていた校長先生が「昔なら、両手をつけて“いらっしゃいませ”というところだが…」と、その変わりぶりに目を見張った。こどもたちの生活環境を考えれば無理のない話だが、よく親のしぐさを見ているものだ(日野市・寿原文夫)。

[自治会が分裂、抗争 都営長房団地] (41. 11. 28 夕刊)

運動会“多数派”だけ カ・ハエ退治もバラバラ

[団地マイカー・クラブ] (41. 12. 5 夕刊)

地域にとけ込む活動 久米川一救急車がわり 赤羽台一慈善ラリー

〈団地だより〉[深夜までうろつくカギっ子たち] (41. 12. 5 夕刊)

不良化は自分の家の問題でなく、団地のようなところではみんなの問題である。それだけに、カギっ子クラブがあれば、どんなによいのにと思う。この団地には、100人のカギっ子がいるので、早急に学童保育クラブの建設がのぞまれる(上石神井団地・一主婦)。

〈まち〉 [団地っていいなあ] (41. 12. 5 夕刊)

どこそこの団地の安い牛乳，保育所もマーケットもある団地…など，設備が整っていることをきかされると，子どもばかりでなく，おとなも「団地っていいなあ」と思いたくなる（板橋区・高橋幸子）。

〈赤でんわ〉 [団地に多い“閉じこめ老人”] (41. 12. 12)

ある老人は，私にネコとイヌの話をしてくれた。「おなじに人間に飼育されていても，ネコは気ままに行動できますが，イヌはいつもつながれているでしょう。わたしらは，イヌみたいなものです。ネコがうらやましいですね」と（長野県松本市・会社員・牧野寛）。

[団地 音の悩み] (42. 2. 7)

訴え，神経質な人に 話し声で眠れなかった ピアノ ステレオは注意
「下には人が住んでいる」そんな気使いも必要

[団地の牛乳戦争] (42. 4. 21)

値切れれば 15 円にも… 客奪い合う小売り店

[団地電話は経営“混線”] (42. 4. 22)

交換所の家賃も滞納 文化協会 8 団地で半年間

団地電話の集金業務などを一手に扱っている日本公営住宅文化協会（中略）が，組合，つまり団地住民から預かった電話料約 3600 万円（ほぼ 1 年分）を滞納，電電公社との間でその返済方法をめぐってもめているが，こんどは各団地内にある電話交換所の家賃も滞納していることがわかった。これも団地の住民が払っている金であり，協会のズサンな経営ぶりが改めて問題になっている。

[料金滞納 3 千万円 “団地電話” 差し押え] (42. 6. 2)

電電公社 強硬手段さめる

[さびしい新団地で 主婦，絞殺される 横浜] (42. 6. 9 夕刊)

現場は国道 16 号線から約 2 キロはいったところで，（中略）山を切り開いてことし 5 月に作られたばかりの団地で，周囲には新しくできた商店数軒があるだけのさびしいところ。

[“ベッド化”進む 首都圏都市] (42. 6. 12)

昼は 30% が東京へ 急増する横浜，川崎両市

通勤，通学で東京の昼間人口がふえるにつれ近県の都市では昼間の人口が 30% 以上も減ってしまうところもあることがわかり，東京をかこむ近県市町村のベッドタウン化が急テンポで進んでいることを物語っている。

[ママさん団地議員 特権意識は禁物] (42. 6. 15)

住民との橋渡しに 富士見台団地の前川さん

[高速道路と農地攻防戦] (42. 7. 13)

“億万農家”もでる ねらわれるインターチェンジ周辺 “山奥”が“市街地”に
八王子市宇津木町 館林市赤羽地区

[美濃部さんに聞く 三多摩格差 教育] (42.7.24)

プレハブ, 52 教室も 団地の進出で学童急増 激しい照り返し

人口がふえれば, 学校だけでなく道路, 上下水道, ゴミ, し尿などすべてに金がいる。貧弱な市町の財政でまかなえるわけがない。

少ない都の補助金 高校不足も深刻

[大はやり 団地の夏祭り] (42.8.11)

“二世”にふるさと感を にぎやかに盆踊り 夜店などの趣向も 住民の連帯感強める

“新しいまち”である団地には歴史も郷愁もない。それでは団地っ子がかわいそう。ここがふるさとだという思い出を残してやろう—そんな親心が, このブームをささえているといわれる。

[「団地牛乳」の妨害 “捜査”] (42.8.12)

抜き取りや中傷 練馬の業者 公取委のり出す

似たようなケースは, 神代, 中山, 府中, 厚木, 松戸など各地の団地で起きており, “団地牛乳”をつぶそうとする業者の“巻き返し”が目立っているので, 公取委はきびしい態度で臨むといっている。

[団地で赤ちゃん人質 名古屋で異常男] (42.8.12)

警官まきぞえで殉職 包囲の同僚が誤射? 射殺命令で男重傷 赤ちゃん取り返す

[団地隣室の主婦逮捕 上尾の人妻殺し] (42.8.18 夕刊)

“かげ口いわれて凶行” 借金, しっともからむ? 凶器の包丁も発見 タンスから

[春日部の団地でガス爆発] (42.8.19 夕刊)

工事の3人死ぬ コンクリート壁も飛ぶ

[高砂団地の自治会長 130万円使い込み] (42.8.30 夕刊)

[“連帯感” 乏しい団地族] (42.8.31)

文部省がきびしい診断 「新しい意識」づくり検討

団地は集団病理現象を起こした“奇形社会”で, 隣人の生活に異常なまでの関心を持ち, 血なまぐさい犯罪まで起こる—これは文部省が団地族に下した診断。

[団地 “文部省診断” に異議あり] (42.9.2)

読売新聞社では, よりよき団地のあすのために都内8団地に住むみなさんの座談会を開き, この“文部省診断”をどう受けとめたか, 現実の団地生活はどうか, 今後のあり方はどうか, などご意見をうかがいたいと思います。(聖心女子大教授 島田一男(司会)・ひばりヶ丘・村山・東久留米・富士見台・高ヶ坂・赤羽台・青戸・多摩平の各団地代表者)

“一面的なきめつけ” 努力している姿見ずに 地元と仲良く交流 お祭りやPTA 通じて

“永住派”が多数 都心が近く便利なら 連帯感の芽ばえ 牛乳など日常の消費生活から

[団地交番で警官殺される 町田] (42.10.6)

胸を一突き, 短銃奪う 八王子で犯人, 1時間後に逮捕 勤め帰り20人の目前

〈東京メモ〉 [ひん死の多摩丘陵] (42. 10. 23)

姿かえる宅地造成 ハイキング・コース寸断

[既製品に負けません 団地主婦の編み物教室] (42. 10. 29)

日本橋で作品発表の会

参加したのは、西新井、草加松原、小平、神代団地など都内と埼玉県内 14 団地の主婦 150 人。1 年半にわたる講習を終えた初の「師範科」卒業生だという。

〈東京メモ〉 [団地のマイカー族] (42. 11. 13)

お手上げの駐車場 騒ぎ波及、こじれる対立

「車は生活必需品だ」というマイカー族に対し「いや、一部の人だけにしか手にはいらぬぜいたく品」と反撃するなど、団地という小さな生活集団の中で感情的な対立まで生み、問題の解決をますますむずかしくしている。

[三多摩 バス輸送はもう限界 団地造り延期も] (42. 12. 16)

警視庁が異例の要請

【町田、八王子】団地の建設が続く三多摩地区では、各市町の財政が公共施設整備の先行投資に追われ、道路や駅前広場の拡張、整備も遅れがち。これでは入居者を運ぶバスの増発はむずかしくバス輸送は近い将来、完全にマヒするというのがその要請の理由だが、警視庁が団地建設に伴う交通対策の立場から、このように広範囲の機関に要請したのは初めて。

〈住めば団地①〉 [やっと“寝て1畳”へ] (43. 1. 5)

“団地族”ということばは滅びた。すでに、あまりに平均的な市民像になったからだ。お祭りがあり、朝市があり、運動会がある。団地は「新しい故郷」になりつつある。これからさき、都市生活の理想像をそこに求めねばならない—とすれば、団地人こそ将来の日本人の典型。

〈住めば団地③〉 [DK で一家団らん] (43. 1. 7)

“食寝分離”はけっこうだが「DK 暮らし」には居間がない。テレビ中心の団らんの場に、だれもが苦心している。そして結局、食卓で団らんという形が多くなっている。

〈住めば団地④〉 [クギ 1 本打てない] (43. 1. 9)

ベランダに増築 管理人の目を盗み

〈住めば団地⑤〉 [お葬式まで特製で 祭壇も料金も小型] (43. 1. 11)

〈住めば団地⑦〉 [交流を生む黑板] (43. 1. 13)

ヒマな奥さんは内職をほしがってはいないか。教育ママは家庭教師を求めているか。不用品の処分に頭を痛めている人や赤ちゃん用品を格安に分けてほしいと思っている人は多いのではないか。こういう主婦のために、交流の場を作れば多勢集まるだろう—こうして黑板は生まれた。

〈住めば団地⑧〉 [1 むねにピアノ 16 台] (43. 1. 18)

新団地が 3、4 年たつと、爆発的に売れるというから、その爆発をどう受けとめるか—がセールスマンの腕

になる。

売れる売れるでピアノ屋さんはニコニコだが、あおりを食ってピアノ専門の運送屋さんはきりきり舞い。

[越境入学] (43. 1. 20)

“ドーナツ現象”で新しい悩み 近県から集団で

東京の人口が都内から近県へと膨張するにつれ、こんどは近県から都内周辺区への集団越境組が目立ち関係当局は頭をかかえている。

<住めば団地⑩> [団地キャラバン隊] (43. 1. 23)

ジブシー商人。倉庫はあるが店はない。団地を、プログラムに従ってめぐる。

団地に着くと、一か月ほど前から申し込んである集会所で“開店”の運びになる。下準備も怠りない。前もって、団地の奥さんをアルバイトに「大売り出し」のチラシを入れてある。

団地商法の利点は、なによりも入居者の信用度が高いこと。お客の収入を公団が保証してくれているから、ここで月賦という武器を使わぬ法はない。

<住めば団地⑪> [集会所でデケデケ...] (43. 1. 26)

団地でとてもデケデケはやれない。名の示すように、どうしても友だち集めていっしょにやりたい。(中略) 目をつけたのが集会所。

<住めば団地⑫> [知能, 成績とも優秀] (43. 1. 30)

小学生たちの成績。たいへんよろしい。ママの熱意が結実している。

平均的に学力が高いから、5段階の通知表を団地の学校では使えない、という意見がある。実際にやめている学校さえある。

<住めば団地⑬> [現実的でささやか] (43. 2. 1)

団地っ子の現実的でささやかな希望と農山村の子らの、子どもらしいユメ、イメージ、モラル。

<住めば団地⑭> [遊びの自立時期 高層っ子はおそい 屋上にも遊び場を] (43. 2. 6)

<住めば団地⑮> [禁じられた遊び] (43. 2. 8)

新所沢団地のSストアが、ある時、ヒヨコを大売り出しの景品にしたところ、団地っ子に爆発的な人気を得た。だが、ヒヨコを含めて、団地で動物を飼うのは“禁じられた遊び”である。

<住めば団地⑯> [妊婦の“伏兵”階段] (43. 2. 20)

4, 5階は慎重だが 2階の住人ご用心

<住めば団地⑰> [軽い妊娠中の症状 核家族が気を楽しに] (43. 2. 22)

生活様式の現代化が、現代の妊婦からツワリを奪う。団地がその典型だとすれば、やはり団地こそ時代の先端をきる家族集団ということになる。

<住めば団地⑱> [きたない室内の空気 炊事時が一番危険] (43. 2. 23)

“換気扇のすすめ”

〈住めば団地㉒〉[ゴミを投げ込むな] (43. 2. 27)

ダストシュート—ごみ放りこみ所。4階にいても5階にいても投げこむだけで台所のゴミが片づく。至極便利なようだが1階の住人にはこれが実にいやな存在になる。

〈住めば団地㉓〉[浸水にボート常備] (43. 2. 29)

上倉田(横浜市戸塚)は、34年、640戸の団地が完成くらい“水害団地”というありがたくない名をいただいている。

管理事務所には2隻の青いプラスチック製のボートが備えてある。

毎年雨期になると問題になる首都圏の水害、団地も例外ではない。

〈住めば団地㉔〉[2DKの変わり種 砂あらし防ぐ設計] (43. 3. 2)

2DKに“辻堂型”という変わり種がある。バルコニーの半分、およそタタミ2枚分がサンルームになっているタイプで、こどもの部屋くらいにはなる。

だが—“辻堂型”誕生の意味を忘れてはいけない。ここは猛烈な砂あらしに襲われるのだ。中層団地では珍しく窓ワクには密閉できるアルミサッシを使ってあるが、それでも砂は容赦しない。

〈住めば団地㉕〉[やかましくするな 窓をあけて騒ぐな] (43. 3. 5)

おそく入浴するな

野中の1軒家ではないことをはっきり自覚して生活することが“健康な団地暮らし”の条件だ。

〈住めば団地㉖〉[壁に水滴ビッシリ 特に苦情多い分譲] (43. 3. 7)

〈住めば団地㉗〉[駐車場めぐり論議 使わない人には損] (43. 3. 14)

〈住めば団地㉘〉[“付き合い”不在 絶えないいざこざ] (43. 3. 15)

願いは“良き隣人”

〈住めば団地㉙〉[2, 3階から売れる ほしい団らんの場合] (43. 3. 22)

〈住めば団地㉚〉[すれ違う生活意識 子どもの世界にも] (43. 3. 23)

団地ができると、新しい市民が古い地域社会に突然住む。新旧2つの住民はちがった生活意識をもっている。

[産地から団地直送 東京ストアの移動販売—経企庁さっそく視察] (43. 3. 25 夕刊)

25日スタートしたのは、産地農協など生産者団体から仕入れた品を車で都内に運び、そのまま団地など大口消費者団体の“玄関先”まで届けるという新構想。

[土地ブームを押える] (43. 3. 27 夕刊)

大阪府吹田市の山田地区を見おろす台地に立って、府企業局のDさんが説明してくれた。大阪市の中心部から直線距離で約13キロ。4年前までは竹ヤブの間にワラぶきの屋根が点在していたこの農村地区も、いまは地主たちの高級住宅地に早がわりしつつある。青や赤のカワラの波にまじって、ポツポツと見える鉄筋コンクリート2階建ての豪壮な邸宅が、まるでこの町の拠点のようだ。Dさんの話では、その多くが冷暖房完備、大谷石のヘイの内側には大小の庭石が並び、自家用車も2台が普通、なかには3台の家もあるという。

マンモス団地の誘致，民間分譲地の造成，東京外郭環状線の用地買収などで千葉県松戸市内は，いま土地ブームにわき地価は上がる一方。1000万から2000万円もかけた御殿のような鉄筋造りの近代的なデラックス住宅が目を見はらせる。

〈住めば団地⑤〉[敬老会もいっしょ 心のカキ取り除く] (43.3.28)

共同社会は団地の境界で区切られてはいけないという自覚が，芽ばえは始めている。

〈住めば団地⑥〉[地元と協力の時も だが堅い排他意識] (43.3.30)

居住者自身も迷う

〈住めば団地⑦〉[遠く高く不公平 家賃 白い壁の中の悩み] (43.3.31)

[「茂呂遺跡」に宅地化の波 踏みつぶすブルドーザー] (43.5.1)

〈こんなはずでは…〉[バイパス “公害”] (43.5.7 夕刊)

“1日3万台”の騒音 開通で環境一変 “静かな団地”

団地に接して走る日光街道草加バイパスが開通したおかげで公害に悩まされる松原団地

[わたしの奮戦記 団地への小荷物に「搬入料」] (43.5.16)

軽い荷でも一律料金 “ひどいわ，2階で40円”

〈マイだんち〉[“3Cへ”内職ブーム 武里(春日部市)] (43.5.16)

武里の特徴は住人の年齢層が若いことだ。ほとんどが30歳前後の若い団地夫人だけにやることも合理的。いまここでは内職が大はやり。

いわゆる“内職”というジメジメした感じはなく，カラー・テレビ，ルームクーラー，マイカーと団地夫人の夢に直結しているだけに明るい。

〈こんなはずでは…〉[“故障”続出，公社の分譲団地] (43.5.21 夕刊)

雨もりのする“鉄筋” 壁には結露，家具も“カビ攻め”

コンクリートの壁いっばいに発生した黒カビ。住民は「家具も台なしです」と口々に被害を訴える

[安い団地牛乳 少女が守る] (43.5.23)

南蒲田 鳥島さん 毎朝，無料で配達 ピンチには妹が応援

[8か所に「不在投票所」 団地の集団棄権ふせぐ] (43.6.4)

3区3市1町の8か所に「記載所」が設置されることになった。

〈こんなはずでは…〉[“どろんこ道”にイライラ] (43.6.4 夕刊)

団地はできても追いつかぬ市道

この“文化村”は，東武伊勢崎線一ノ割駅から約1500メートル。春日部市藤塚に，K工務店が建設しているもので，全部できれば1000戸の大団地になる。

団地そのものはまことにけっこうなのだが，一步団地の外へ出ると，問題の市道に悩まされる。

[団地強盗は少年 自分で110番, つかまる] (43.6.9)

<こんなはずでは…> [東名高速道路の騒音 都心なみ85ホン] (43.6.11 夕刊)

“夢” 破られた田園都市

国鉄横浜線長津田駅からバスで5分。横浜市港北区十日市場町に大手のT不動産が開発した「多摩田園都市市長津田分譲地」がある。幸か不幸か“日本の大動脈”東名高速道路がこの分譲地の真ん中を突っ走っている。自動車の騒音に悩まされているのは、この高速道路のすぐそばに土地を買い、念願のマイホームを建てた人たちだ。

<婦人と生活> [ここに盲点 公共住宅 広がる月収基準のスキ間] (43.6.12)

“どこにも応募できぬ” 母かかえた姉妹の嘆き

東京・町田山崎団地—姉妹の収入合算を認めるというので申し込んだがやはりダメだった

[きらめくブーム 宝石加工] (43.6.15)

ズバリ、趣味と実益 弟子50人の団地主婦も

“卒業生”の中には、自分で教室を開く人も少なくない。その1人、埼玉県の某団地に住む主婦は3DKの6畳間と台所を改造して研磨機を持ち込み、団地マダムに教え始めたが、1年たらずで弟子が50人。売りさばきと指導料で月収20万を軽くオーバー、ご主人もついに会社をやめマネジャー兼セールスマンをつとめている。

<こんなはずでは…> [ばい煙の犯人, 焼却炉] (43.6.18 夕刊)

ホッとしているのは千葉県船橋市の公団前原団地33号とうに住む16世帯。“ばい煙に悩まされる団地”といっても工場の煙突ではなく“犯人”は同むねのごみ焼却炉である。

近く、公団がやっと腰を上げ、この焼却炉を修理することになり悩みも解消するわけだが、ここでも「公社、公団へは1人より集団で陳情を」という“悲しい”事実がききめをあらわしている。

[宅地造成また人災] (43.6.20)

鉄砲水で電車脱線15人けが 東武野田線, 線路えぐる

【千葉, 柏】幸い死者こそなかったが、この事故は線路ぞいの山林を切り開いて造成した宅地の排水設備が不完全だったため起きたもので、明らかに“人災”。私鉄沿線で競って進められている造成宅地のなかには、排水が悪かったり、ガケくずれを起こす危険な土地があとを断たないが、これはズサンな宅地造成で起きた事故といえる。

[多摩川住宅でも“ダニ騒動” 今春入居の900世帯] (43.7.2)

団地自治会の抗議でとりあえず公社側で薬剤散布をすることになったが、住民たちは「高い金で買った分譲なのに」とカンカン。

[近くの坊やを殺し ゴミバケツに隠す] (43.7.19 夕刊)

鹿児島 同じ団地の主婦逮捕

[5階の窓から“ママ!!” 2つの幼女転落死] (43.7.20)

町田の団地 低すぎたサク 72センチ

〈カメラ・ニュース〉 [ポンコツ練習機 団地っ子のお相手] (43.7.25 夕刊)

埼玉県大宮市の県営砂団地内の子供遊園地に、同県入間市の航空自衛隊から寄贈されたポンコツ練習機です。飛ばないといっても本モノ。ご自由にお乗りください、というわけで、子どもたちの人気は上々(大宮)。

〈婦人と生活〉 [地上15階の“住みごこち”] (43.9.4)

なれば快適です 高所恐怖は孤独や心の不安定から

高いところは、見晴らしのよさをはじめ、快適さも多い代わり、こわさや不安感などもつきまとう。そうしたマイナスを防いで、快適な高層生活を営むためには「家族や近隣関係をよくする」「時々土をふんで広い自然に接する」など、新しいくらしの知恵が必要だ。

〈カメラ・ニュース〉 [ママさん郵便配達] (43.9.20 夕刊)

川崎市百合ヶ丘団地に“ママさん郵便配達婦”が誕生した。登戸郵便局の人手不足カバー策で、同団地の主婦たちが午前中の2時間配達する。

1時間130円のパートタイム(川崎)。

〈値上げお断わりっ!⑤〉 [牛乳自配から満3年 変わる団地ママ像] (43.9.26 夕刊)

牛乳自配を続ける横浜市の南日吉団地

[モデル団地でハエ騒動 江東・辰巳団地] (43.11.3)

1,2階、天井べったり 発生源がつかめず 3年前は夢の島で

“埋め立て地再開発のモデル団地”“都営団地として最大”と、この夏、はなばなしく発足した東京・江東区の辰巳団地(2905世帯)に、先月末から季節はずれのハエが異常発生し、朝から晩まで入居者がハエ退治に追われている。団地内の保育園では給食のたびに保育士さんが総出でハエを追い、マーケットではハエたたきが売り切れるほど。

〈マイホーム〉 [プレハブ住宅 住んでみたらこんな不満] (43.11.12 夕刊)

夏は暑く冬は寒い 平屋建てなら屋根を高く きかぬ断熱材

低すぎる天井一薄暗く圧迫感 将来の増改築一問取り吟味を

[団地でプロパン爆発 神奈川] (44.1.8 夕刊)

主婦ら10人が重軽傷 上下4部屋もめっちゃめっちゃ 【厚木】

[ドーナツ圏から越境入学] (44.1.21)

板橋もネを上げる 実情調査して締め出し 江東も波及の恐れ

人口の“ドーナツ化現象”につれて、ここ数年、近県から都内の小、中学校への越境入学が盛ん。周辺区では、いずれも対策に頭を痛めており、神奈川県と隣接する世田谷、大田両区や埼玉県とつながる練馬区などでは、すでに1昨年ごろから越境入学締め出しに力を入れている。

[またボタン焼かれる 亀戸団地のエレベーター] (44.1.23)

住宅公団亀戸2丁目団地で、さる19日から20日にかけて、自動エレベーターのボタンが焼かれたが、同じ団地で22日、また同じ事件が起こった。

[看護婦さん殺される 川崎郊外 早朝出勤の途中] (44. 2. 28)

現場は国鉄南武線新城駅から約 1.5 キロ離れた中原新道ぞいの新興住宅地のど真ん中。

[3 億円事件 逃走のカラーラ発見 小金井の団地] (44. 4. 9 夕刊)

[盲点・団地駐車場] (44. 4. 10)

あいまいな管理 不審車確認を怠る

“3 億円カラーラ” は小金井市の団地駐車場で発見されたが、この車が盗まれたのは日野市多摩平団地。自分たちの周囲に無関心な層が多いという団地と駐車場、そこでの車の管理や監視はどうなっているのか。

[下町の団地ご見学 皇太子さま「大島四」など] (44. 4. 19)

皇太子殿下は 18 日午後、江東区内にある住宅公団など 3 団地を訪れ“下町の団地”を初めてつぶさに見学された。

〈環七 下〉[“ムード”を売る 郊外レストラン] (44. 4. 19)

商売は夜が中心。最初のピークは 8 時前後。家族づれが多い。二度目は午前 1 時。若者であふれる。

“郊外レストラン”は、住宅地を切り開いた地区にかたまっている。畑やあき地も目立つ。

[団地 (南浦和) の路上で殺人 ひき逃げか電報電話局員] (44. 7. 3 夕刊)

[“怪談” 団地の米騒動 産地直送, 実は配給米] (44. 7. 19)

地元の米屋も“総点検”へ

共闘体制を組んで、産地の新潟から直接うまい新潟米を“グループ買い”した主婦たちに、地元の米屋さんたちが逆襲し、その米は、実は政府が消費者用に卸したはずの、れっきとした配給米、とあばかれた。しかも、これを密告した地元の米屋の中にも、配給米をヤミ米として売りつけていた者がいる“おまけ”までわかり“ふんだりけったり”の団地ママたち (後略)。

騒動となったのは、東京・武蔵野市の桜堤団地。

[田園まさに…駐車場] (44. 9. 16 夕刊)

午前 6 時 20 分、たんぼの中を走る幅 6 メートルの農道に 1 号車が駐車、つづいて 5 分後に 1 台、つぎつぎと車の駐車量がふえて 8 時すぎには広い農道も車で一杯となる。これは神奈川県高座郡海老名町の小田急電鉄相模海老名駅前の朝の一こま。この付近は東京、横浜のベッドタウンとして続々と広がる住宅地に比例してマイカー族もふえ、出勤途上のサラリーマンにはこの農道が格好の駐車場。

[ダンチガイ “埋め立て団地”] (44. 9. 22)

ハエ、カ、野ネズミ、夜盗虫 不等沈下と悩みづくし

全国の公営住宅団地の中で、江東区・辰巳都営団地 (既入居 2905 世帯) は、きわめて特殊な“性格”を持っている。港湾埋め立て地を利用したもものでは全国に例のない規模だという点が 1 つ。もう 1 つは、とにかく住みにくいこと。ハエ、カ、野ネズミ、夜盗虫の集団発生、さらには地盤沈下防止策の見直しゼロ…。

[公団住宅、異例の再募集 江東・大島 4 丁目の賃貸 400 戸] (44. 10. 1)

高家賃で棄権続出 都内で初めて 面開発にショック

工場跡地，2DK で高い家賃，交通も便利でないときらわれた江東の大島4丁目団地

[団地の波に小学校 SOS 羽田付近 “肥満校” がズラリ] (45.1.6)

もう学級はふやせない，新設校も焼け石に水 最後の手は通学区替え

東京の周辺地区の小学校はパンク寸前。都市化の波に押されて急増する人口に追いつかないためだが，一方，工場跡地の団地利用によって，かつての工業地帯もまた，学校不足問題に悩みつつある。とくに，大田区の場合，深刻だ。

[恐怖の団地エレベーター 胸にナイフ 11階へ 深夜，強盗が待っていた] (45.1.26)

東京・足立区の高層ビル団地で，25日未明，帰宅した住民がエレベーターの中で“密室強盗”にあい，現金12000円を奪われた。

[保育所つき住宅めぐり “内ゲバ” 都営桐ヶ丘団地] (45.2.7)

“公園つぶす”と猛反対 母の会 “賛成多数で決定済み”自治会

[うば車でも渡れます 都営団地の歩道橋 評判良ければ…ほかにも] (45.2.10)

「環八」をまたぐ 世田谷烏山町

階段の代わりにゆるいスロープをつけた歩道橋を作ったもので，都内でははじめて。

工事費は普通歩道橋の2.5倍と高くつくので，合計3100万円。

[あわや死の “ガス団地”] (45.4.23)

配管に穴あけられる 大阪 入居目前，35か所も 殺人未遂で捜査

[ひばりヶ丘団地で断水騒ぎ 2700戸カラカラ 給水車やっと深夜出動] (45.6.8)

付近の宅地造成で 地下水，底をつく

同団地の水道は団地独自で地下水をくみあげて配水しているが，付近一帯の急ピッチの宅地造成で地下水の水位が下がってきているところに，洗たくなどで使用量の多い日曜日と真夏並みの暑さが加わり，使用量が給水能力を上回って，抜き打ち“断水”となったものらしい。

[団地ぶちぬく 高速道路] (45.7.13)

“寝耳に水”住民怒る 烏山北 猛反対の大会開く

[交通至便ただし騒音・ホコリあり お断わり付き募集] (45.8.13)

道路沿い南大和分譲団地

この分譲団地は都心から約18キロ，東武東上線成増駅から西に3キロの埼玉県北足立郡大和町に建設されたが，だんだん遠くなりつつある公団住宅としては交通の便のいいところ。

だが，地形が細長いため，団地は一列行列。それに，公道に面しているため，公害の懸念がでてきた。このため，こんどの募集のパンフレットでは「団地の南側は公道で，公道沿いにはつき山，ヘイなどによって設計上，防じん，防音に対して配慮してありますが，なお騒音，ホコリなどが予想されます」と入居後のトラブルをさける断わり書きをしている。

[公害なし 庭付き 85 万円 田園から通勤] (45. 8. 21 夕刊)

都心から 1 時間半の通勤圏内にある、茨城県筑波郡伊奈村では、(中略)このほど第 1 回分の 56 戸の入居が始まった。

国電取手駅から、バスで 15 分、たんぼに囲まれた団地は、奥さんには買い物がかちょっと不便だが、子供たちにはフナ釣り、トンボとりと遊びの天国だ。

[団地の水道止める 町田 抜き打ち 6 時間] (45. 9. 1)

公社との“対決”過熱 あきれ、怒る新住民

【町田】東京・町田市で、市側が「団地進出に伴って市財政などが圧迫されるのはご免だ」と市営水道の送水を約 6 時間にわたって一方的にストップする騒ぎが起きた。対象になったのは、入居を始めたばかりの都住宅供給公社町田木曾団地(同市木曾町)の積み立て分譲住宅 406 戸。

[国鉄“不親切ダイヤ” 来月の改正に団地族は泣く] (45. 9. 18 夕刊)

成田線湖北駅 陳情無視し繰り上げ

東京のベッド・タウンの 1 つ、千葉県我孫子市の日本住宅公団、湖北台団地から東京都心に通勤するサラリーマンの唯一の足を確保している国鉄成田線が、10 月 1 日の大幅ダイヤ改正で、最終列車の発車時刻を 5 分早めるという改悪をした。

〈婦人と生活〉[パンク寸前の団地の焼却炉] (45. 10. 24)

輪をかけるポリ容器 燃やすなといっても回収もお手上げでは…

不完全燃焼で有毒ガス発生 雨の日は塩酸になって降る 使用制限や閉鎖する団地も

団地の焼却炉が、各地でピンチになり、住民のゴミ処理が深刻な悩みになっている。家庭からはき出されるゴミのなかに、塩化ビニールやプラスチック類が急増、有毒ガスが発生したり炉がこわれたり、団地はもちろん、付近住民にまで被害がおよんでいるためだ。

〈婦人と生活〉[団地の“郵便ママさん”] (45. 10. 29)

郵便配達さん。いままでは男と決まっていた。が、人手不足のこのごろ、そうも言っていられず、郵政省はこのほど女性の集配人を正式採用に踏み切った。郵政省にこう踏み切らせたかけには、東京都内や近県の団地の主婦たちの手で行なわれている集配パートの好成績がモノをいっているようだ。

[こんどは“足”のない団地 船橋・金杉団地 1,500 戸] (45. 11. 1)

3 か月もたなざらし 「バス開通」で地元と対立 “建てればいい”ではもうすまぬ

【船橋】もよりの国電船橋駅に通ずる道路も、通勤バスを乗り入れる船橋駅北口広場も狭い現状では通勤、通学の足を確保できず、苦情を地元がかぶることは目に見えていると、船橋市が公団にねじ込んだためだ。解決のための話し合いもさっぱり進展せず、入居開始のメドさえついていない。

〈カメラ・ニュース〉[“抵抗”の裏り 団地のミニ菜園] (45. 11. 12 夕刊)

東京・国立市の富士見台団地自治会が、ことしの 6 月から市とタイアップして始めた団地農園。1 区画 10 平方メートルにキャベツ、ニンジン、ダイコンなど思い思いの野菜を育てた。

団地の親子が手にマメ作ったなれない畑仕事、苦労もあったが、それだけに収穫の喜びは大きい。

[9 階のマイホーム悲劇 ベランダ乗り越え坊や転落] (46. 1. 27)

[住民ストア ねばりの開店 主婦どっと“安いわァ”] (46.2.22)

江東・辰巳団地生協 都を説得, 1年ぶり

江東区辰巳1丁目の都営辰巳団地(約3300世帯)のショッピングセンターの一角に, 団地住民たちが組織した生活共同組合の直営店が21日オープンした。既存の団地商店街の猛烈な反対で, 入居認可をめぐる1年近くももめ続けたが, 物価高に挑戦する住民たちのねばり強い運動で, ようやく開店にこぎつけた。

43年夏から入居の始まった同団地は, 東京湾7号埋め立て地にあつて, 周辺の市街地と孤立した形。このため, 住民の買い物は団地内の商店街(20店)に依存することになったが, 競争相手の少ないせいか, 値引きサービスもなく「入居前のところより物価が高い」と不評だった。

[団地パワー 女の“公害退治”] (46.3.7)

独自の調査(大気騒音) つきつけ 工場から改善約束 大島3丁目団地

ばい煙, 騒音, 悪臭に悩まされる江東区大島の日本住宅公団大島3丁目団地の主婦たちが, もうがまんできないと結束, 公害退治に立ち上がった。

この団地ウーマン・パワーに押しかけられた, 公害発生源のある工場は, さっそく設備改善を約束するなど, 運動は好調なすべり出しを見せている。

[団地の銀行に強盗 4人組150万円奪う 相武台] (46.3.10)

[ひび割れ分譲団地 日野・高幡台団地] (46.3.16 夕刊)

ベランダ落ちそう 公団, あわてて補修工事

[“エレベーターに注意せよ” 団地住民自衛パワー] (46.3.24)

大田区南六郷 はり紙で呼びかけ

大田区内の団地のエレベーター前に「エレベーターに油断するな。わたしは痴漢に襲われた。みなさんも十分気をつけて」というビラが1週間ぐらい前から張られている。

[ああ 待望の入居 だが… 多摩ニュータウン] (46.3.27)

ないないづくし 交通, 病院, 学校, 店

「どんな不便も承知, 住宅を初めて得た喜びはたとえようがありません」—26日, 入居が始まった世界最大の人工都市多摩ニュータウン。不便な交通機関, 医療, 教育施設の不備など, いまのところこのニュータウンを囲む生活環境は悪いが, 入居者たちのほとんどは意に介していない。

[“ニュー・タウン族”の10日間] (46.4.5)

不満は山ほどあるが ヒバリの目覚し

世界最大の人工都市・多摩ニュータウンの第1次入居が始まって, きのうの日曜日で10日目。この間約1400世帯, 6500人が移り住んだ。「陸の孤島」「砂ぼこりの町」などと言われ, 閣議の話題にもなった新都市。ともかくにも買い物や通勤の不便をかこちながら, あちこちに“生活のとしび”がとまり, ニュータウン族は毎朝ヒバリのさえずりで目をさましている。

[常磐線の“迷惑乗り入れ” 沿線パワー爆発] (46.4.23)

葛飾区, 国鉄と対決へ 運賃正せ, ダイヤを戻せ 団地族先頭に

国鉄常磐線と地下鉄千代田線の相互乗り入れは, 開通早々から国鉄のうたい文句とは逆に「乗り換えが不便

になった」「実質的な運賃アップだ」と、近距離乗客から不評をかっている。亀有、金町駅など約10万人の利用客をかかえる東京・葛飾区では、22日、区、住民ぐるみで「乗客無視のダイヤと運賃の是正」の運動に乗り出すことになった。(中略)この推進力は同区内の団地グループ。とかく地域となじめないといわれる“団地族”が、区ぐるみの運動の先頭に立つのは異例のこと。

[多摩ニュータウンの新住民] (46.4.24)

傍観してます “生活選挙” 代表選べぬ 1800 票

幼稚園は、“足”は、とただイライラ 現行制度ではどうにもならぬ

<ニュースの色> [露店におまかせ 多摩ニュータウン] (46.4.25)

東京・南多摩の巨大な実験都市「多摩ニュータウン」—これは花々しい未来住宅の舞台裏であります。

手も足もとられて“陸の孤島” 日用雑貨、必需品のたぐいはこちらと昔なつかし露天市。赤ん坊かかえたママさんから、若いカップルの人気を呼び、キャッチ・フリーズもマンモス団地にふさわしく“史上最大の乱売”とありました。

[私鉄スト どうしてもやる とめられない 団地は“陸の孤島”] (46.5.12)

団地 6200 世帯を擁するマンモス団地、埼玉県春日部市の武里団地は、東武伊勢崎線だけが都心をつなぐ唯一の足。これ以外にはバスもない。このため、同線がストップすると、約1割のマイカー族以外は完全に足どめされ、文字通りたんぼの中に取り残された“陸の孤島”となる。

[マイホームの支払い重く 2児の母が自殺 千葉の分譲団地] (46.6.5 夕刊)

愛だけでは暮らせない。1人で耐えた… 夫に遺書

[都会の恐怖 “エレベーター殺人” 高層団地、女性襲われる 大阪] (46.6.14)

東京、大阪など過密化する大都市で、住宅の高層化は今後ますますふえる傾向にあるが、高層アパートにつきものの“密室エレベーター”の防犯体制の不備が、早くもさらけ出された。

[新興住宅地で幼女殺される 変質者が連れ出して 埼玉] (46.6.16)

【越谷】15日白昼、埼玉県北葛飾郡吉川町の新興住宅団地で、近所の子供と遊んでいた5つの幼女が急に姿を消し、間もなく自宅隣の民家の庭で絞殺死体となって発見された。

[幼女殺し(埼玉) 意外な解決 近所の若い主婦逮捕] (46.7.9)

娘を仲間はずれに “あの子が憎かった”

[団地の4階、坊や転落 もたれた網戸もろとも] (46.8.15)

[宙に浮いた450戸 多摩ニュータウンの都営住宅] (46.9.7)

無資格ぞろぞろ きびしい審査でバレる

【町田】この原因は、収入の最高限が規定されている低所得者用住宅なのに、収入基準をオーバーした無資格者が知らぬ顔で応募、当選後の審査で失格したため。賃貸4万円という庶民にとっては“高根の団地”まで出現しようという住宅難時代に、なんとも、もったいない“あき家”である。

[小さな“独立国” 東久留米市の柳自治会] (46. 9. 24)

ダンナが率先“開拓” 団結して住みよい環境づくり “自衛”も住民が
これは家庭生活を明るくしようとお主人たちが率先し、団結して働いている、都下のある新興住宅地“小さな独立国”の物語である。

[若い女性殺される 小山の新興住宅地 帰宅の夜道、一突き] (46. 11. 9)

[こんなに待たせるなんて！ 団地 医者 電話 幼稚園 記念切手] (46. 11. 11)

団地の次はお医者さん！ 千葉県八千代市の住宅公団米本団地。団地内に歯科、外科、小児科、産科の医院が開設されるというパンフレットを信じて、昨年8月から入居した約1万人は完全に、いっぱい食わされた形。いまだに団地内に医院ができていない。家捜しの苦勞から解放されて、ほっと一息ついた奥さんたち、こんどは大きなおなかをかかえて団地から約7キロ離れた京成・勝田台駅前の産院か、その駅からさらに電車に乗って京成沿線の産院まで通っている。

<婦人と生活> [ん？ 260円灯油 〇 神奈川県藤沢市の団地のお話] (46. 11. 17)

“通産省値”より100円以上安い

さきごろ通産省が発表した灯油実態調査の平均価格374円より100円以上も安い灯油が神奈川県藤沢市の住宅公団善行団地で売られている。団地の自治会から育った湘南市民生協が共同購入5年の実績と、団地の奥さんの応援で小売業者とわたり合ったすえやっこぎつけた“破格値”だ。

[不用品大安売り ゴミ公害解決にもひと役?! 都営辰巳団地] (46. 11. 29)

団地の主婦たちが持ち寄った品物は、タンス、机、テレビなど家具類から、衣類、クツなどぜんぶで約1000点。値段の方もさまざま。一番安いのが10円。最高は電機除湿器の1万円。品物は午後3時までの5時間でほとんどさばかれた(後略)。

[泥酔警官、老人を殺す 深夜の団地、家間違え] (46. 11. 29)

錯覚か、なぐるける 多摩ニュータウン

[団地に白昼強盗 赤羽台 若妻刺され重傷] (46. 12. 8 夕刊)

<今日の断面> [迫る“都市さばく” その後の鹿島] (46. 12. 13)

農民連帯、今は夢 札束抱き心の荒廃

進出企業の若々しいエネルギーも燃えている。地元膨大な金が動いてさまざまな人間模様も描かれた。

オアシスどこに…

“農工両全”のスローガンもむなしく“工”だけが突っ走った新都市、そこでのかわいた生活。

[非情 木枯らし人生] (46. 12. 20 夕刊)

【渋谷】 パパの子守り、赤ちゃん惨死 車で寝かせ急ブレーキ 泣く子、アパート中に気がね

【青戸団地】 孤老2人ガス中毒

2人は取り引き仲間で、2人とも妻に先立たれ、子どもたちは皆独立して1人暮らしのため、茶飲み友だちとして交際していた。

[団地の“高物価”を破る 東京の辰巳団地] (47.1.25)

生協運動でジリジリ

東京湾からの強風がウズを巻く江東区・辰巳団地。その団地内にある10か所の生協掲示板に、特売案内の
はり紙が吹きちぎられそうにはためいている。この団地では、入居以来3年間、団地内商店街の“独占価格”
と高物価に住民は悩みぬいてきた。

たまりかねた団地住民が、生活防衛のための協同組合を結成したのが45年3月。1年後に開店にこぎつけ、
さらに1年後には、全国生協のなかで、1、2を争う好成績の組合となった。

[多摩ニュータウン誕生1年 町はできた、緑は消えた] (47.3.27)

風吹けば、黄塵万丈 雑木林切りまくる

病院なしの“砂バク” お先真っ暗、都心への足

団地内には、妊産婦が目につく。産婦人科があるだけで、病院はない。

[子供 どちらが優先? 生活] (47.4.9)

武蔵野・桜堤団地の「ゾーン」論争

PTA 通学路遊び場なくては危険 自治会 車禁止、生活台なし

子供を守るためのスクールゾーンに、都心などへ通勤するマイカー族から反対の声が起こっている。子供優
先か、団地の生活優先か—こうした住民同士の意見対立は、この団地ばかりか、各団地共通の“悩み”。

[団地牛乳に“金棒” 赤羽台団地 大型冷蔵庫を設置] (47.6.21)

団地名店街の一角にオープンした牛乳センターには、8000本が格納できる大型冷蔵庫が完備。

[団地進出お断わり] (47.9.1)

「水道、電気止めますよ」 江戸川区が規制要綱

[9階から転落、助かる 多摩の団地で1歳の坊や] (47.10.24)

幼児が団地の9階から落ちて助かったというのは極めて珍しいケース。診察に当たった医師は「おとななら
完全に即死だったが、幼児は頭の骨がまだ固まっていないためショックを吸収することができる」と説明、ま
た多摩消防署では「地面がやわらかく、しかも芝生が植え込んであったのでショックが弱められた」と奇跡に
結びついた好条件をあげていた。

[広がる団地の自主管理] (47.10.29)

安くなる負担金が魅力

団地やマンションは入居後の管理、補修で住みよさが決まる。管理会社まかせにするか、自主管理に踏み切
るかで将来が左右される

[ベビールーム足踏み 高島平団地] (47.12.1)

応募少ない福祉員 施設はできたのに

乳児の世話をする家庭福祉員の集まりが悪く、“開園延期”のハメに陥ってしまった。

[郊外大地主エレジー] (48.1.4)

にわか不動産屋で失敗 農協も限度越す融資 警視庁も内偵

〈婦人と生活〉〔東京近郊の分校 東久留米市立第十小〕（48.1.31）

“ないない”小学校 もたつくうちにも生徒数ふえるばかり 設備遅れ、体育はお寺

東京都下に6年生のいない小学校“分校”がある。だからこの春は卒業式もない。そればかりか、職員室も屋内体育館もなく、校庭も工事なかばで使えないという“ないないづくし”，子どもたちから教育の機会均等を奪っているのである。なぜこんなことになったのか。その背景には“土地欠乏”がもたらした郊外住宅の急膨張，その財政負担にあえぐ地方自治体のジレンマがあった。

庶民にとって，お家はだんだん遠くなり，子どもの学校はお粗末になる一では全くやり切れない。

〈婦人と生活〉〔団地⇔官公庁 直通の高速通勤バス 大西さん奮戦記〕（48.2.14）

夢は“1敗”喫したが… 水のアワにしたくない 社長業なげうって実現めざす

東京の郊外，町田市の団地と都心の官庁街霞が関を結ぶ高速通勤バスがテスト運行されたのは昨年11月のこと。「OUR・BUS（私たちのバス）」と呼んだこの乗り物，国鉄や私鉄のラッシュ地獄から脱出して1人1座席，朝夕，高速道路を走って団地と都心を直行するというものだった。だが，テスト運行は経費高のため定員に満たず失敗。

〔欠陥バルコニー 町田の公団鶴川6丁目団地〕（48.2.19）

再点検してみたら 驚くなかれ 半数も

【町田】全戸数の約半分のバルコニーに“要補修”などの欠陥を抱えていた。日本住宅公団東京支所が首都圏120団地，9万戸について進めている総点検の中で，東京都町田市の公団鶴川6丁目団地（分譲）から表面化した工事のお粗末度を示すデータ。

〔団地道路 “バイパス騒動” 多摩川住宅〕（48.10.14）

“私道”なのに車の洪水 自治会が実力閉鎖きめる

「団地の道路はバイパスじゃない。市や公社が誠意ある対策を示さないで，からだを張って通行を阻止する」一。東京都調布，狛江両市にまたがる都住宅供給公社多摩川住宅（約14000人）の道路をめぐる，団地自治会が13日夜住民大会を開き，実力閉鎖に立ち上がることを決めた。この道路は，団地のためにつくられたが，今では北多摩南部と都内の城南地区を結ぶ事実上の幹線道路になっている。

〔車追放 雨中に燃える 団地道路 通せんぼデモ 怒りの多摩川住宅の住民〕（48.10.22）

〔また孤島の夜 “浸水団地”〕（48.11.11）

「雨の度に…」怒る住民 下水管1本なぜできぬ

“初冬の豪雨”の後遺症は大きかった。（中略）東京・足立区や横浜・戸塚区の団地では，床上浸水のため寝る場所を奪われ，住民たちは冷え冷えとした夜を泥水と悪臭のなかで過ごした。

（つづく）

（にしわき かずひこ 文化創造学科教授・近代文化研究所所員教授）